

平成 30 年度 全国学力・学習状況調査の結果の概要と 高津中学校における今後の取り組みについて

新秋の候、保護者の皆様にはますますご清祥のことと拝察いたします。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本校におきましては、学校教育目標を実現するため、

- | |
|-----------------|
| ① 確かな学力、生きる力の育成 |
| ② 豊かなこころ（心身）の醸成 |

の 2 点を重点目標として、日々の教育活動に取り組んでおります。

このたび、4 月 17 日（火）に 3 年生を対象に実施されました全国学力・学習状況調査の調査結果から見えてくる本校がめざす教育活動の成果と課題の一部をお知らせし、今後も保護者・地域の方々と共に本校の教育活動をより進めていくことができると考え、この報告書を作成いたしました。

なお、本調査によって測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることが調査の実施要領にも示されておりますので、地域・保護者の皆様には、本調査の趣旨をご理解いただき、ご支援とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

1. 調査結果の概要

（※数値％は「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」の合計数値です。また、（ ）内の数値は全国の数値を表します。）

（1）教科の調査（○は概ね満足できる状況と考えられる内容、●は改善を必要とする状況と考えられる内容です。）

① 国語

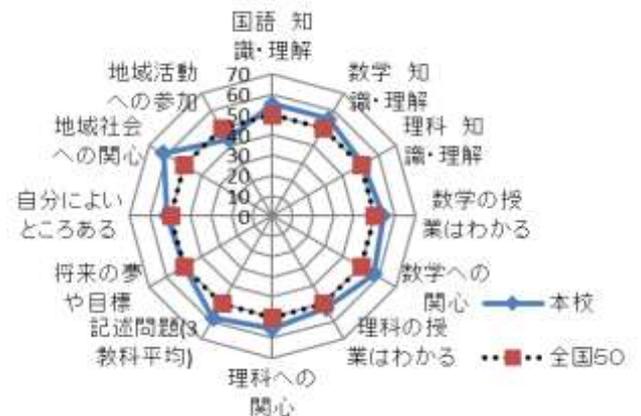
*全国結果を 50 とし、それに対する本校の結果を表しています。

【昨年度の目標】

各領域で全国の平均正答率を上回ることをめざすとともに、自分の考えや手順等を伝えることを通して、記述式問題の正答率を全国より 10 ポイント上回ることをめざします。

【現状と課題】

- 「言語についての知識・理解・技能」に関する問題の平均正答率は 69.5% で全国よりも 6.6 ポイント上回っており、良好な状況にあります。
- 記述式問題の平均正答率は 57.2% で全国よりも 6.9 ポイント上回っていますが、「全国の平均正答率より 10 ポイント上回る」という目標を達成することはできませんでした。文章等で表現する力をさらに身につける必要があると捉えています。



② 数学

【昨年度の目標】

国語と同様に、説明する問題の正答率を全国より 10 ポイント上回ることをめざすとともに、日常とのつながりを意識した授業を心がけ、数学に関する関心等の数値を 5 ポイント程度向上することをめざします。

【現状と課題】

- 「数量や図形などについての知識・理解」に関する問題の平均正答率は 68.5% で全国よりも 5.2 ポイント上回っております。今後も授業の工夫を行いながら、より知識・理解の定着を図っていきたくと考えています。
- 「数学の授業の内容はよく分かりますか」という質問に対しては 75.4% (71.0%) の生徒が肯定的な回答をしております。
- 「数学の勉強は大切だと思いますか」という質問に対しては 89.2% (83.6%) の生徒が肯定的な回答をしており、昨年度から 12.4 ポイント向上しました。「数学に関する関心の数値を 5 ポイント向上する」という目標を達成することができました。
- 記述式問題の平均正答率は約 36.5% であり、全国よりも 8.6 ポイント上回っているものの、課題があると捉えています。また、「全国の平均正答率より 10 ポイント上回る」という目標を達成することができませんでした。

③ 理科

【現状と課題】

- 「自然事象についての知識・理解」に関する問題の平均正答率は 69.9% (68.7%) で、全国とほぼ同程度となっております。

- 「理科の授業の内容はよく分かりますか」という質問に対しては 72.5% (70.0%) の生徒が肯定的な回答をしています。
- 「理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか」という質問に対して、「週 1 回以上」と答えた割合は 21.0% (40.7%) でした。全国平均より頻度が少ない傾向にあり、今後の課題として捉えています。
- **3 教科ともに知識・理解の部分で良好な状況が見られます。また、「数学への関心に関する質問」「理科への関心に関する質問」について肯定的に回答した生徒はそれぞれ 79.6%、65.9% (72.6%、59.8%) と全国を上回っておりますが、さらに各教科への関心を高めていきたいと考えております。また、ICT を活用した授業や、実験や観察等の活動を生かした授業などを通して、より関心・意欲を引き出す授業づくりを心がけていきたいと思**います。
- **各教科の記述式問題に対する平均正答率に改善の余地が見られます。普段の授業から言葉や図などで表現する機会をとり入れ、能力の向上に努めていきたいと考えています。**

(2) 学習・生活習慣や意識等に関する調査

【昨年度の目標】

学校行事や体験活動、キャリア在り方生き方教育等の一層の充実を図ることで、「将来の夢や目標をもつ生徒」「失敗を恐れずに挑戦する生徒」の割合がいずれも 5 ポイント程度向上することをめざします。また、ご家庭の協力を得ながら、家庭学習の充実を図ることもめざします。

【現状と課題】

- 「自分にはよいところがある」という質問に対して、80.5% (78.8%) の生徒が肯定的な回答をしています。学校行事等で一人一人の役割を意識させる等の取組の結果から、自尊感情が少しずつ育ってきていると考えられます。
- 「将来の夢や目標をもっている」という質問に対して肯定的な回答をした生徒の割合は 72.4% となっており、「昨年度の 72.9% から 5 ポイント上げる」という目標を達成させることができませんでした。
- 「学校のきまりを守っていますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」といった質問について、肯定的に回答した生徒はそれぞれ 95.0%、97.8%、96.4% (95.1%、95.5%、94.9%) といずれも 9 割を超えていることから、良好な状況にあると考えられますが、いじめに関しては現状に満足することなく、生徒全員がいけないことだと回答できるよう取り組んでいきます。
- 家で「自分で計画を立てて勉強をしている」「学校の授業の予習・復習をしている」と回答した生徒の割合はそれぞれ 63.0%、65.3% (52.1%、55.2%) となっています。また、「学校の宿題をしている」と回答した生徒の割合は 94.2% (91.6%) となっており、家庭学習の定着が少しずつ進んできていると考えられます。
- 「地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がある」と回答した生徒の割合が 71.0% (59.3%) であるのに対し、「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した生徒の割合は 39.2% (45.6%) にとどまり、課題として捉えております。
 - **家庭での学習習慣については、少しずつ改善がみられています。授業終了時に、次の授業に向けての家庭学習の目安を伝えるなどの取組の成果が表れているものと捉えています。今後も家庭学習の定着に向けた取組を進めていきます。**
 - **自尊感情については少しずつ育っておりますが、夢や目標をもつことができていない生徒も見られる結果となりました。キャリア在り方生き方教育の充実を通して、職業観や将来へのプランニングを学んでいき、将来の夢や目標がもてる生徒の育成を図っていきます。**
 - **また、地域や社会に興味・関心を持ちつつも、地域の活動へ参加できていないと思われる生徒が見られるので、委員会活動や部活動を中心に積極的に地域活動へ参加する機会を設けていきたいと考えています。**

2. 調査結果をもとにした次年度に向けた取組目標

(1) 教科に関する取組目標

新しい指導要領にも書かれている「主体的・対話的で深い学び」につながる授業を模索する中で、生徒が理解を実感できる授業を推進し、次年度も各教科で「4 領域の平均正答率が全国に比べてすべて上回る状況」をめざします。特に、ICT の活用を通して対話型の授業を促進することで、記述式問題において全国より 5 ポイント上回ることをめざします。

(2) 学習・生活習慣や意識等に関する取組目標

学校行事や体験活動、キャリア在り方生き方教育等の一層の充実を図ることで、「将来の夢や目標をもつ生徒」の割合が今年度より 5 ポイント程度向上することをめざします。また、さまざまな活動で地域とのつながりを意識した活動を充実させ、「地域の行事への参加」に関する質問において全国と同程度になることをめざします。

教育委員会から

高津中学校では、「キャリア在り方生き方教育」の研究推進校として、生徒の自己有用感の醸成や共生社会の一員としての意識の高揚を目指し、生徒一人一人を大切にしながら日々の教育活動に取り組んでいます。学校訪問では、生徒は和やかで柔らかい表情であり、安心して学校生活を送っている様子がうかがえます。規範意識の調査結果が高いことも安心な学校づくりにつながっていると感じます。

高津区・教育担当